

# 夏休みは、子どもの一生を決める！？



夏休みの思い出と言えば、皆様は何ですか？  
私は、海水浴や虫取りなど、毎日夜遅くまで遊んだことです。しかし、勉強の方は、8月末に冷や汗をかき泣きながら宿題を終わらせたものです。

さて、「小学校における夏休みの宿題をやる時期と、それが大人になってからの人生に及ぼす影響」という研究結果を、大阪大学の池田新介教授が発表しました。宿題を後回しにする子どもには、大人になったとき、以下のような確率が高いとのこと。

- ・ 負債を負いやすい。
- ・ 太りやすい。
- ・ 飲酒習慣がある。
- ・ タバコを吸いやすい。
- ・ ギャンブル習慣があるなど。

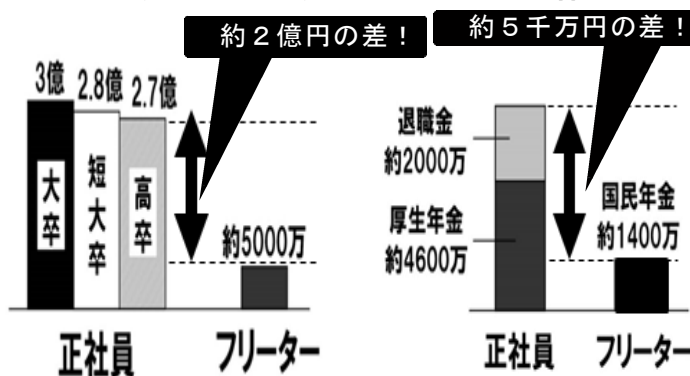
「先延ばしにする」クセを付けてしまうと、その後の人生に影響を及ぼすのです。

では、どうすればよいかと言いますと、以下の3つの方法が有効だそうです。

- ① 「午前中に宿題をやる」など、ルールを家族で話し合ってみる。  
(自分だけでは弱い自分に負けてしまうので、目標を他の人に知らせるとよい。)
- ② 目標は、「夏休み帳を7月中に終わらせる。」より「1日2ページやる。」がよい。  
(一気に全部をやるような大きな目標を立てず、小さな目標を立てて少しずつ取り組んでいく方が結果的に効率がよい。)
- ③ 遊ぶ時間についても計画を立てる。急な誘いに負けていきなり遊びに行かない。  
(人は誘惑に負けてしまうから、事前に防御計画を立てておくことがよい。)

私と同じ失敗をしてほしくないと考え、子どもたちに話しました。学校でも夏休みの計画を指導しましたが、再度、家族で話し合ってみてください。(上記の3つは、当然のことですが、我々大人の肥満、浪費癖、ギャンブル好きからの脱却などにも効果があります。)

ところで、もう一つ、子どもたちに夏休みのお手伝いの大切さについて話をしました。



左の図のように、大人になって仕事が長続きせず、定職に就かないと、60歳までに約2億5千万円、退職後、退職金や年金で約5千万円、合わせて3億円の差が出ます。

よって、小さい時から、働くことの大切さや、一つの仕事を続けること大切さを身に付けさせるために、ぜひとも、夏休みにお手伝いをさせてください。すぐにできるお手伝いでかまいません。

フリーターを60歳の定年まで続けた場合の正社員との生涯賃金の差

定年後にもらえる退職金と年金の差

(『フリーター亡国論』丸山俊著と退職金・年金事情 2005年版より)

※7月25日(月)～31日(日) 県の教育委員会が定めた「家族との対話」週間です。  
お子様と、夏休みの学習の計画やお手伝いについて話し合ってみてください。